



IPNから受け入れるルートを増やすための Cisco ACI の設定

• [IPNから受け入れるルートを増やすための Cisco ACI の設定 \(1 ページ\)](#)

IPNから受け入れるルートを増やすための Cisco ACI の設定

ルートがポッド間ネットワーク (IPN) から物理スパインにアダプタイズされると、Open Shortest Path First (OSPF) によってそれらのルートは Intermediate System to Intermediate System (IS-IS) にのみ再配布されます。この再配布は、IS-IS が既存のトンネル エンドポイント (TEP) プールの一部になっている場合、または Cisco Application Policy Infrastructure Controller (APIC) の [Fabric Ext Connection Policies] で設定されているサブネットの一部になっている場合に発生します。

この動作のため、IPN に接続していないスパインは vSpine に到達できません。データプレーン TEP および vSpine ルータ ID が Cisco Application Centric Infrastructure (ACI) Virtual Pod (vPod) TEP プールの一部となっていない場合は、[Fabric Ext Connection Policies] でこれらのサブネットを設定する必要があります。

手順

- ステップ 1** vSpine と Cisco ACI vPod について、ルータ ID、データプレーン (TEP)、またはその両方を、IPN 上のセカンダリ ルートとして設定します。
- ステップ 2** Cisco APIC にログインします。
- ステップ 3** [Tenant] > [Infra] > [Policies] > [Protocol] > [Fabric Ext Connection Policies] に移動します。
- ステップ 4** 設定済みのポリシーで、サブネットを [Fabric External Routing Profile] に追加します。

